

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

岡谷市

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林業振興事業
2	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林道等小規模修繕事業
事業費		1,715,000 円 (うち支援金: 1,293,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

<現状> 本市の人工林は、森林資源として利用できる時期にあるので積極的な間伐が必要な状況である。

<課題> 本市は個人所有の森林面積が零細のため、国や県の補助金対象外となり森林が整備されないままとなっている。また、災害復旧事業の対象にならない小規模な林道等が、豪雨等により崩れて通行不可となっている。

(2) 本事業の目的

国・県の補助事業の対象にならない森林や林道等に対し、市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、森林の適正な管理を図ることにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに山の多面的機能を持続的に発揮させ、林産物の発掘を促進する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 岡谷市内の森林

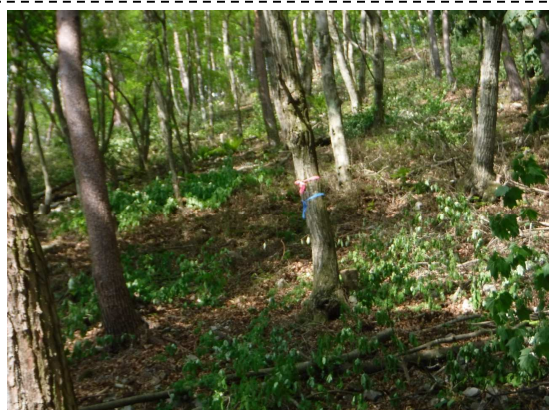
(2) 対象者 岡谷市内に森林を所有する所有者

(3) 実施方法 ①は、森林所有者への補助事業 ②は、直営事業

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) ①85ha (17ha/年) ②25 箇所 (5 箇所/年)

②令和 3 年度実績 ①13.29ha ②13 箇所 (委託:1 箇所 強化 12 箇所)



「個別



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

国・県の補助事業の対象にならない森林や林道等に対し、市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、森林の適正な管理を図ることにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに山の多面的機能を持続的に発揮させ、林産物の発掘を促進する効果があった。

(2) 継続性

(1) の効果が期待できる事から継続が必要。

(3) 普及性

市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、山の多面的機能を持続的に発揮させることで、地域住民に森林の重要性を啓発できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

支援金充当により、市内森林において 13.29ha の森林整備及び 13 箇所の小規模林道等修繕事業等を実施できた。

(2) 課題

今後は、県森林づくり県民税活用事業を有効に活用し、森林の持つ多面的機能を維持・増進させること、また、市民一人ひとりが恩恵をうけられるような事業も検討していきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

森林整備 17ha/年

小規模林道等修繕事業 5 箇所/年

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)